



令和5年度 三股町立梶山小学校 学校だより(No15)

かじやま



かんどうがいっぱい じまんがいっぱい やる気じゅう分 毎日が楽しい 梶山小

R6.1.24(水) : 文責 校長

自立と貢献について考える！！



梶山小学校の子供たちに、将来「自立し貢献できる社会人」になってほしいと思っています。

今回は、自立と貢献について、それぞれ私の考えを述べてみます。

一般的に自立のイメージは、経済面の自立や生活面の自立ではないかと思います。もちろんその2つの自立も大事な事だと思います。私は併せて、精神面の自立も大事だと考えています。

できれば、義務教育の期間である15歳までに、自分の人生の方向性を

見定めてほしいと考えています。「自分は何が得意か、何をしている時が幸せか、どの方向に向かうことが望ましいか」等を自問自答してほしいのです。

義務教育終了後は、社会で働くこともできます。工業高校、商業高校、農業高校等の実業系の高校に進学することもできます。普通科高校に進学することもできます。自分のよさを生かして、自分がより精神的自立ができる進路選択をしてほしいと思います。

貢献ですが、思いますに、自立と貢献はペアになりやすい言葉同士ではないでしょうか。経済面・生活面・精神面で自立している人は、対人、対集団、対社会に貢献できる人ではないかと思いです。「だれかの役に立っている(貢献できている)」という思いになったとき、人は幸せを感じるのではないかと思うのです。

とても、真面目な話になりましたが、私は、校長として、「自立し貢献できる社会人をめざして！」というスローガンをもとに、学校を運営したいと考えています。

もちろん、上記は私の考えであり、「自立とは何か、貢献とか何か」の答えは1つではありません。保護者の皆様も、子供たちも、そして本校の教職員も、自分の考える「自立と貢献の答え」をもっていただけるとありがたいと思っています。

子供たちには、「自立し貢献できる社会人」をめざして、学校生活を実りあるものにしてほしいです。知徳体という視点から、「確かな学力」「豊かな心」「たくましい体」をめざして、知徳体のバランスのとれた児童・生徒になってほしいと思っています。

今後とも、梶山小の教育活動へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

☆彡 失敗しなくちゃ、成功はしないわよ。ココ・シャネル<フランスのファッションデザイナー>

「自立し貢献できる社会人をめざして！」… 知・徳・体のバランスのとれた児童の育成